

専門部会 30 年度報告

部会名(意思疎通支援部会)

経過	<ul style="list-style-type: none">・今年度3回（5月、7月、9月）開催。・各部会員（聴覚障害、視覚障害、身体障害、失語症、高次脳機能障害等の各障害当事者 及び家族会メンバー）が日常生活で困っている点、障害者差別解消法後の状況等について、意見交換を継続し、課題の抽出を行っている。
成果	<ul style="list-style-type: none">・今年度より、東京都失語症者向け意思疎通支援者養成講習会が実施されることとなったが、意思疎通支援者の重要性が認識され、募集定員を大幅に上回る申し込みがあった。・障害理解の促進に向け、小学校 4 年生を対象とした福祉体験学習ガイドブック「ともに生きる笑顔のまち」が社会福祉協議会で作成された。
課題	<ul style="list-style-type: none">・失語症会話パートナー派遣事業の在り方検討。区の助成で、失語症会話パートナーを派遣する制度が必要とされている。会話パートナーが行う支援の難しさを踏まえ、開始時期等計画していくことが必要。・車椅子体験等、障害理解を促進する企画では、当事者の気持ちが支援者に伝わるよう、当事者の参加等検討する必要がある。
本会での報告事項	<ul style="list-style-type: none">・移動手段の確保が継続した課題として挙げられている。 具体例）聴覚障害者向け電話リレーサービスの使いづらさ、リフト付福祉タクシー等事業の補助内容の変更
その他	